

令和4年3月31日

高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター長
中村教博

大学変革リーダー育成プログラム（TLP）について

平素は、本センターの活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

これまで大学教育支援センターでは、文部科学省教育関係共同利用拠点として、日本の大学改革や所属機関における教育開発のリーダーを担う有為な人材の開発を目的に、大学教育人材育成プログラム（EMLP）、アカデミック・リーダー育成プログラム（LAD）、そして大学変革リーダー育成プログラム（TLP）を実施してまいりました。幸いなことにこれらには、日本全国から現職の大学教職員の方々を中心に多くの方にご参加いただき、履修証明プログラムとして、肯定的な評価をいただいております。プログラム間を超えたネットワークも形成され、プログラム修了後の学びの継続も行われています。

さて直近の TLP（2019-2020）は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、約半年間のプログラム期間延長を経て、TLP（2019-2021）として、2021年9月に4名の受講生に履修証明書を授与することで修了しました。一方で今回の TLP の実施に際しては、プログラムの目的・内容・運営について、組織内外のさまざまな要因から課題が明らかになりました。そこには新型コロナウイルス感染症という予期せぬ出来事により、大学改革や教育改善のあり方が、従来と異なる視点での発想と実践が求められる事態に転換させられたことも関係しています。そこで大学教育支援センターでは、本履修証明プログラムの今後について、総合的見地から再考が必要であるとの判断に至りました。これにより当初実施を予定しておりました TLP（2022-2023）については、実施を見合わせることにいたしました。

上記プログラムへの参加をご検討いただいていた方には心よりお詫び申し上げます。大学教育支援センターでは大学改革や教育開発に寄与する人材養成のあり方について、継続して検討してまいります。引き続きご支援とご協力のほどお願い申し上げます。